



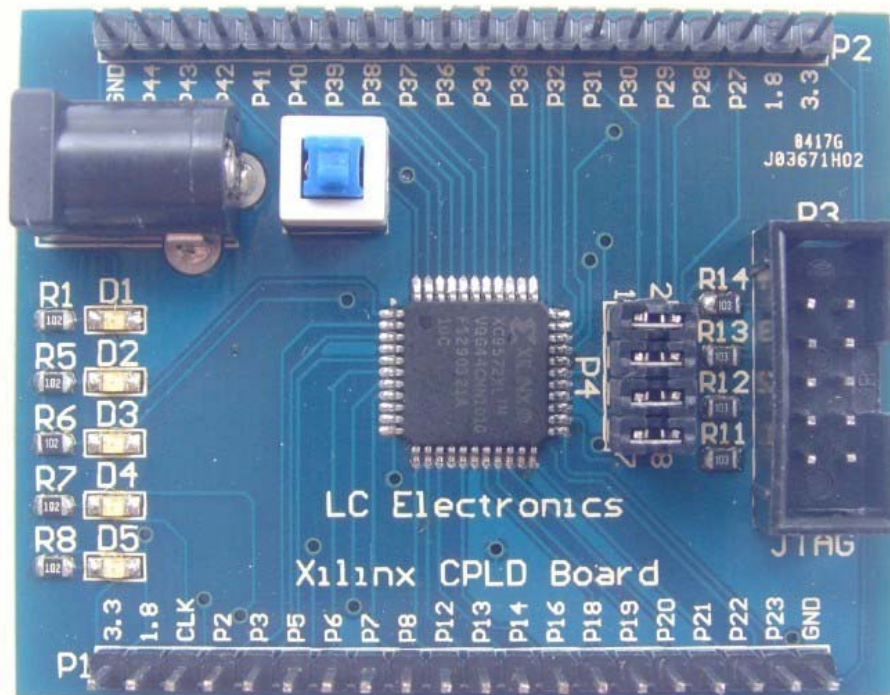
# Xilinx XC9572XL CPLD 開発キットマニュアル

株式会社日昇テクノロジー

<http://www.csun.co.jp>

info@csun.co.jp

2011/09/28



copyright@2011

## ・ 修正履歴

NO	バージョン	修正内容	修正日
1	Ver1.0	新規作成	2011/09/28

※ この文書の情報は、文書を改善するため、事前の通知なく変更されることがあります。最新版は弊社ホームページからご参照ください。

「<http://www.csun.co.jp>」

※ (株)日昇テクノロジーの書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。



---

第一章 概要.....	4
第二章 ハードウェア仕様.....	5
2.1 JTAGインタフェース.....	5
2.2 電源回路.....	6
第三章 初体験.....	7
3.1 プロジェクトの起動.....	7
3.2 ボードに書き込み.....	7

## 第一章 概要

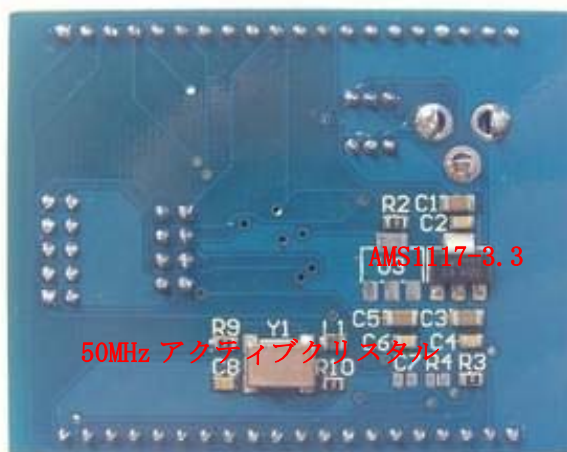
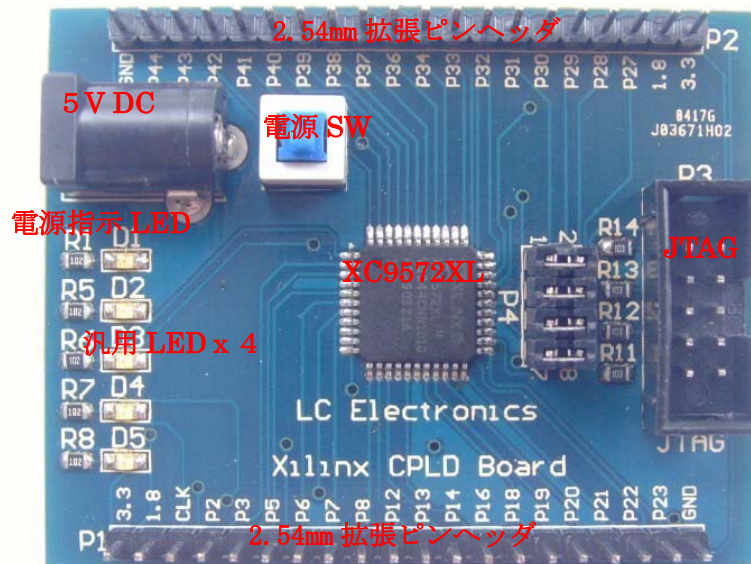
Xilinx 社の高性能 CPLD XC9572XL マイコンを採用しております。XILINX の 10V CPLD XC9500 シリーズを用いた評価用ボードです。

本ボードの主な特徴：

- 1、XC9572XL-10VQG44C マイコン搭載
- 2、JTAG インタフェース搭載
- 3、50MHz アクティブクリスタル搭載
- 4、汎用 LED x 4
- 5、3.3V レギュレータを実装、AMS1117-3.3
- 6、DC 5V 給電、電源 SW 付き
- 7、すべての IO を 2.54mm 拡張ピンヘッダで引き出し
- 8、外形寸法：61×48 (mm) ※突起物は除く

## 第二章 ハードウェア仕様

詳しくは回路図をご参照ください。



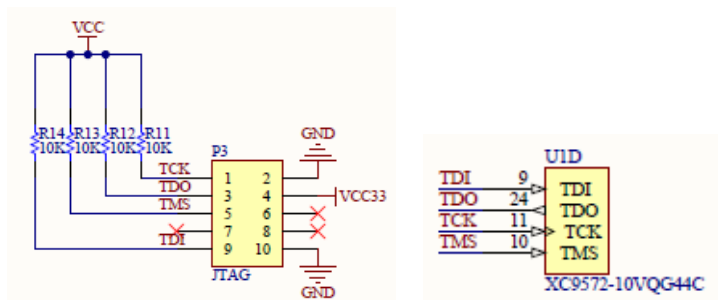
### 2.1 JTAGインターフェース

CPLD へのISP に用います。

ピン配置は次表のとおりです。

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	TCK	2	GND
3	TDO	4	VCC
5	TMS	6	-
7	-	8	-
9	TDI	10	GND

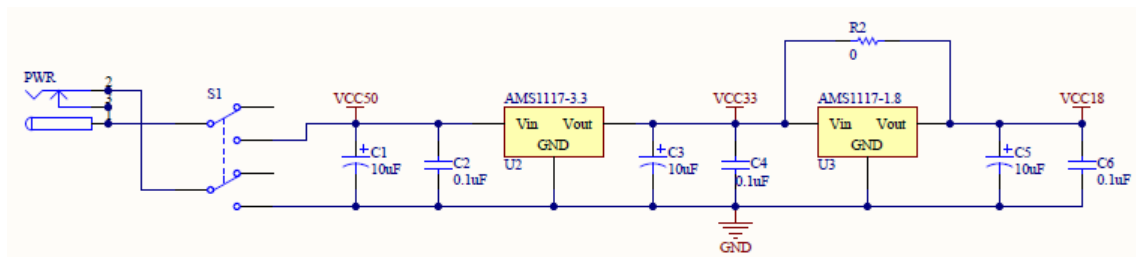
回路図：



弊社製 XILINX USB ダウンロードケーブルでダウンロードできます。

製品紹介URL：<http://www.csun.co.jp/SHOP/2010082501.html>

## 2.2 電源回路



本ボードは、DC 5V単一電源で動作します。

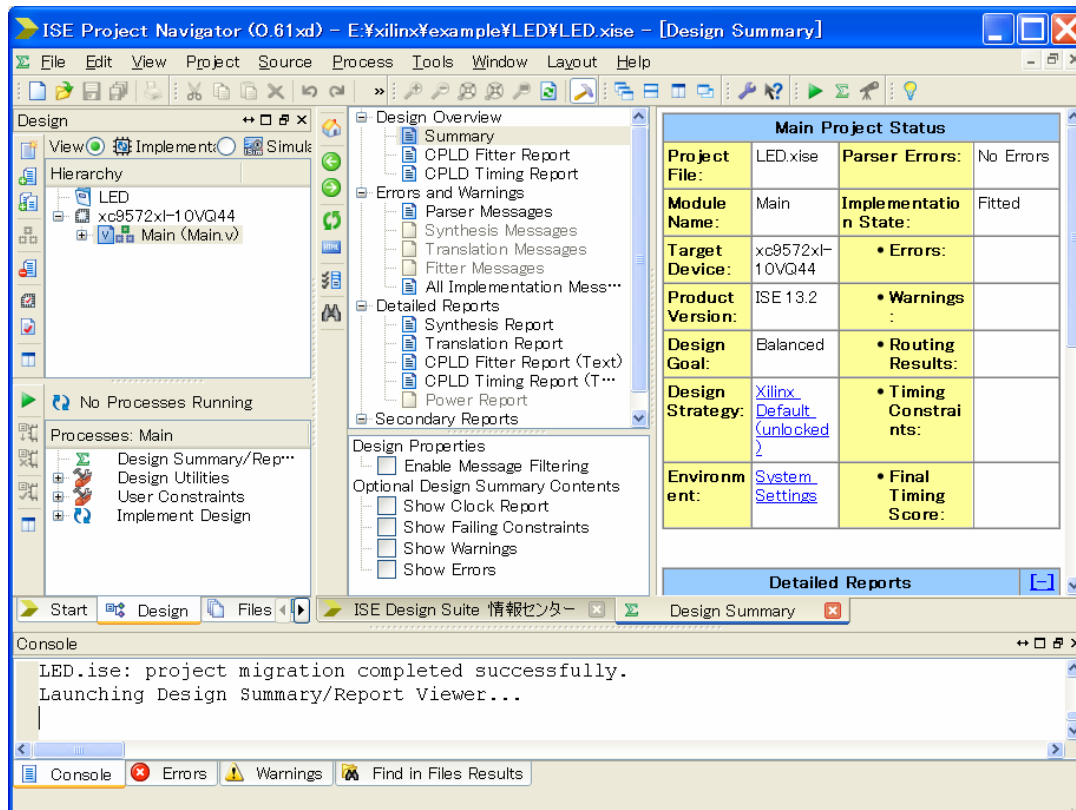
ボード上に3.3Vレギュレータを実装し、VCCIO に供給することができます。

## 第三章 初体験

サンプルソース LED を例として操作手順を説明します。

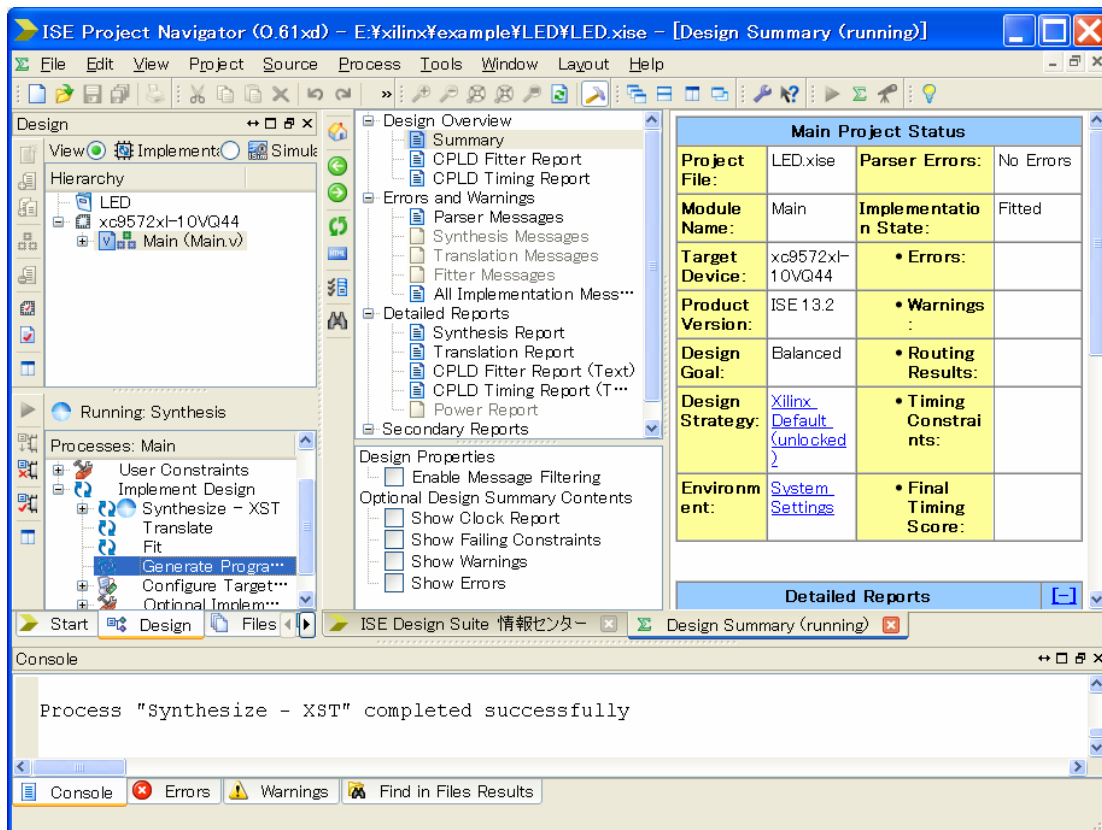
### 3.1 プロジェクトの起動

既存プロジェクトを起動する場合は File→Open Project で開く。或いは .ise ファイルをダブルクリックで開く。

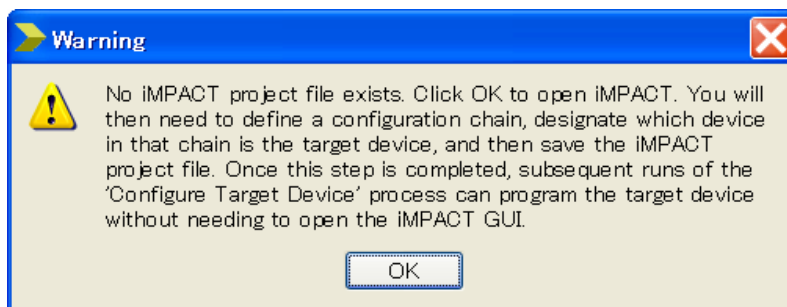


### 3.2 ボードに書き込み

Processes 欄の Generate Programming File をダブルクリックする。

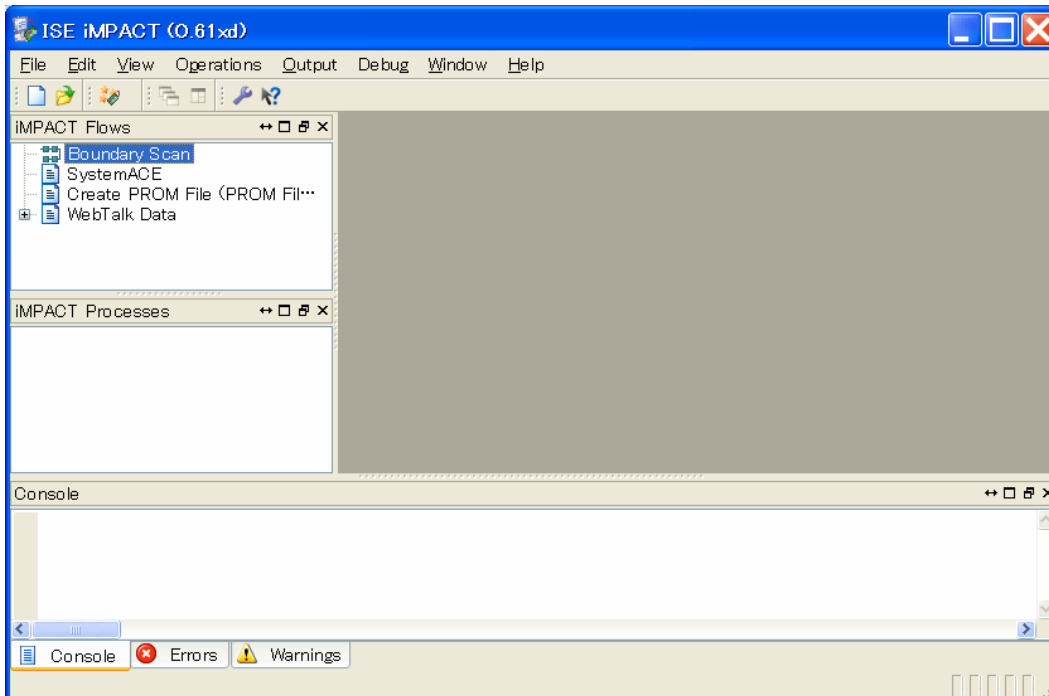
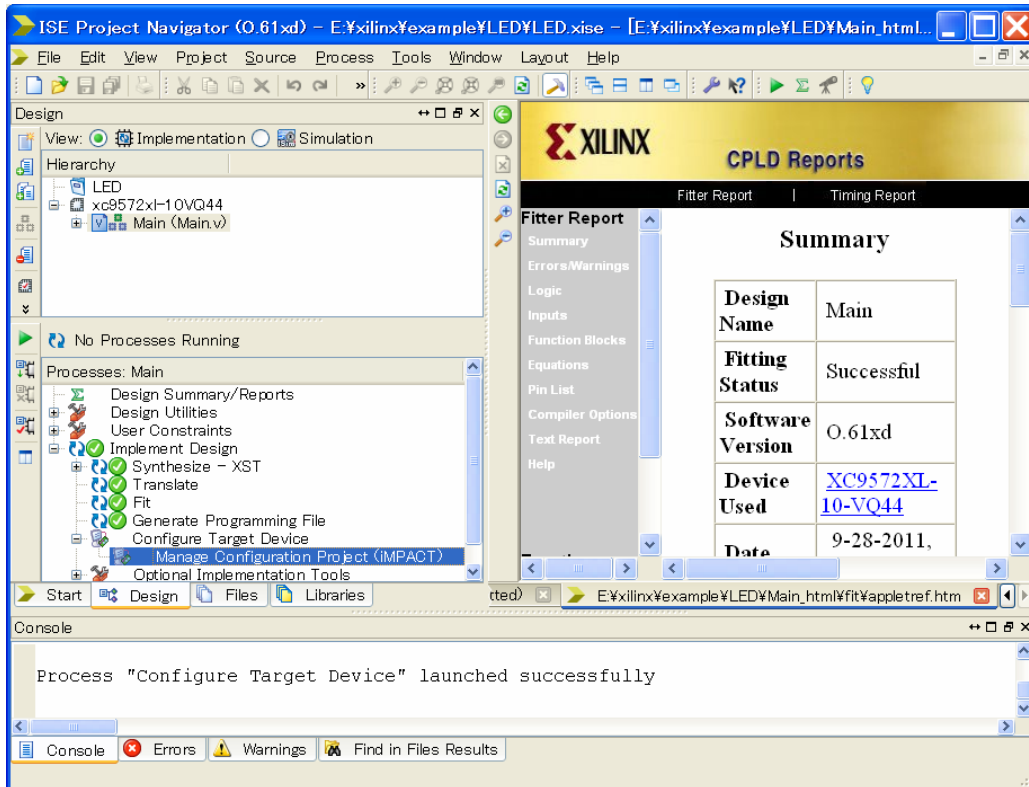


Configure Target Device をダブルクリックする。

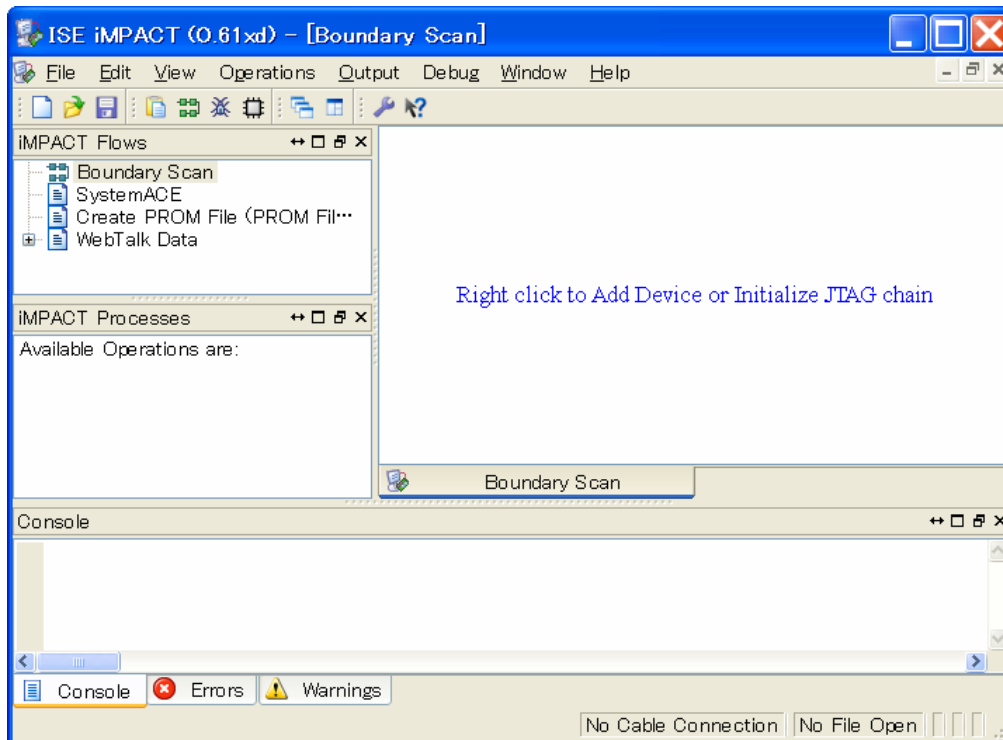


OK を押す。或いは Configure Target Device 下にある Manage Configuration Project (iMPACT) をダブルクリックする。

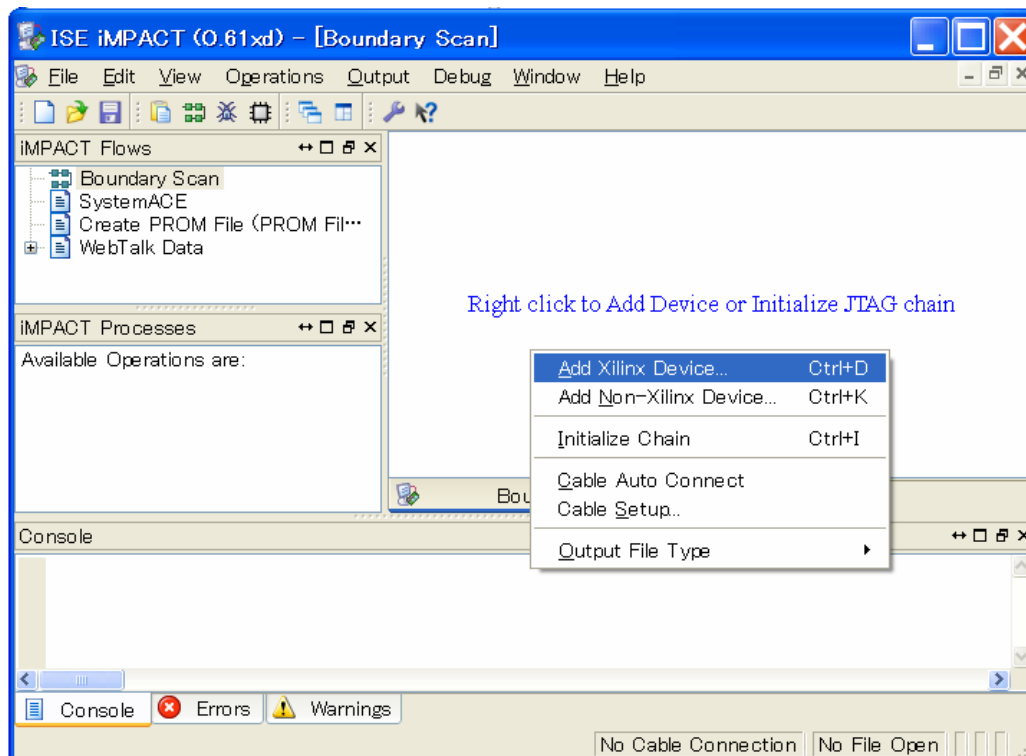




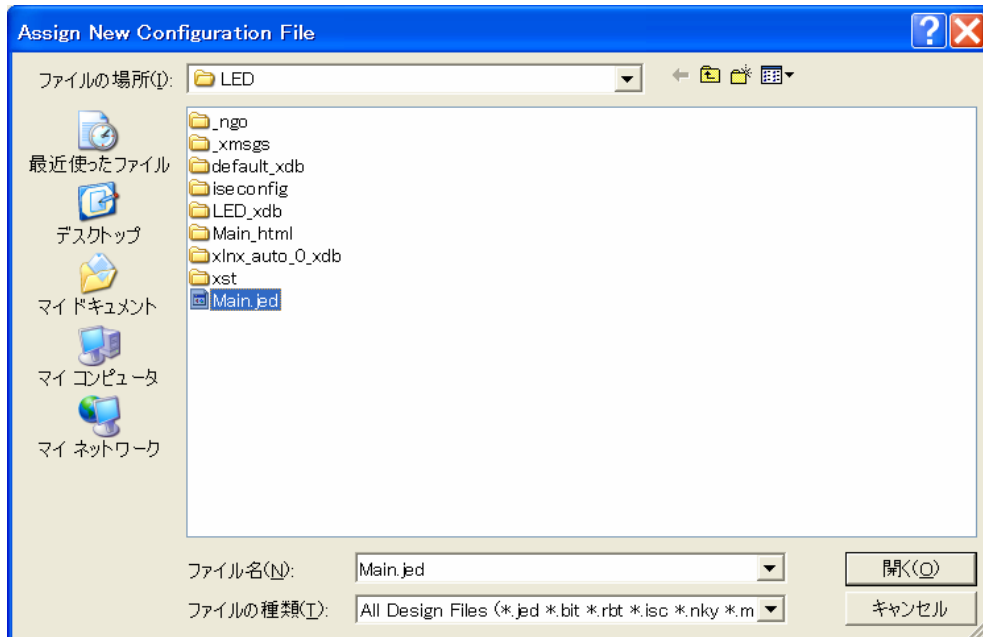
“Boundary Scan” をダブルクリックする。



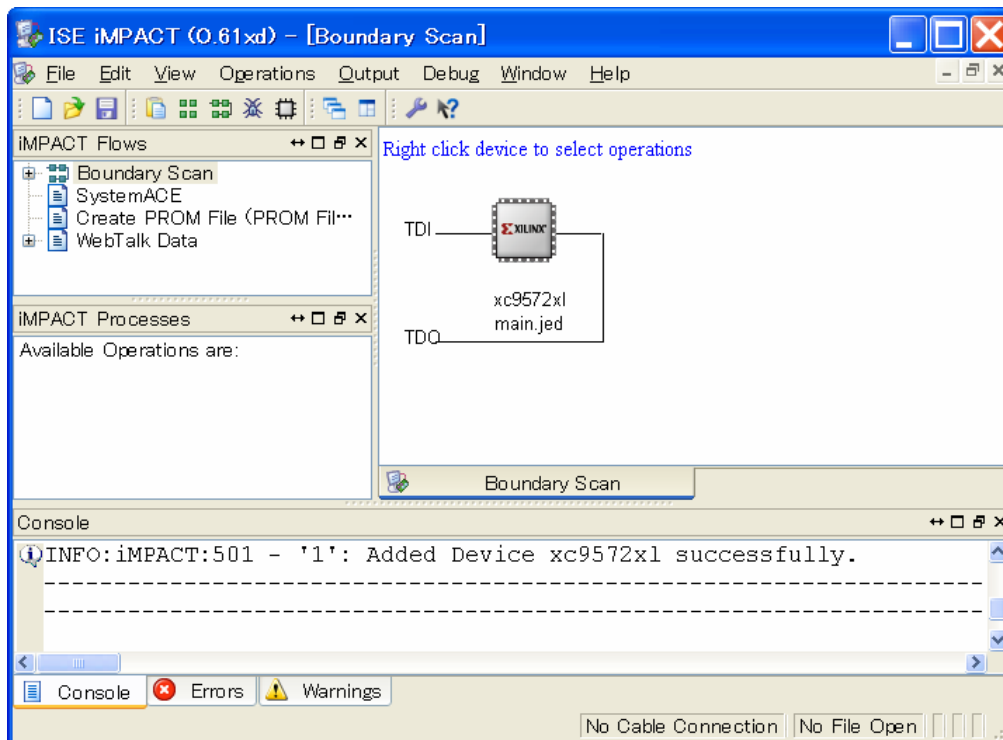
画面指示通りマウスを右クリックする。



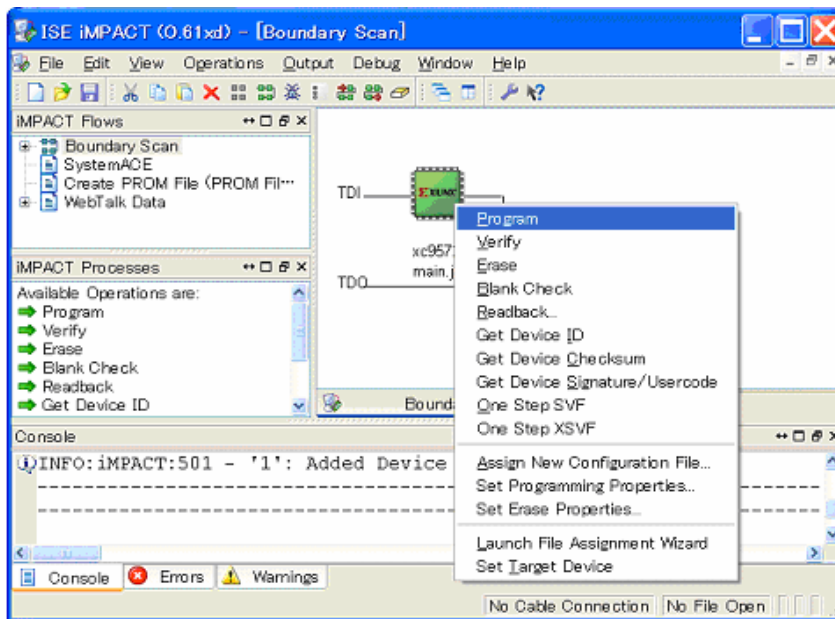
Add Xilinx Device をクリックする。



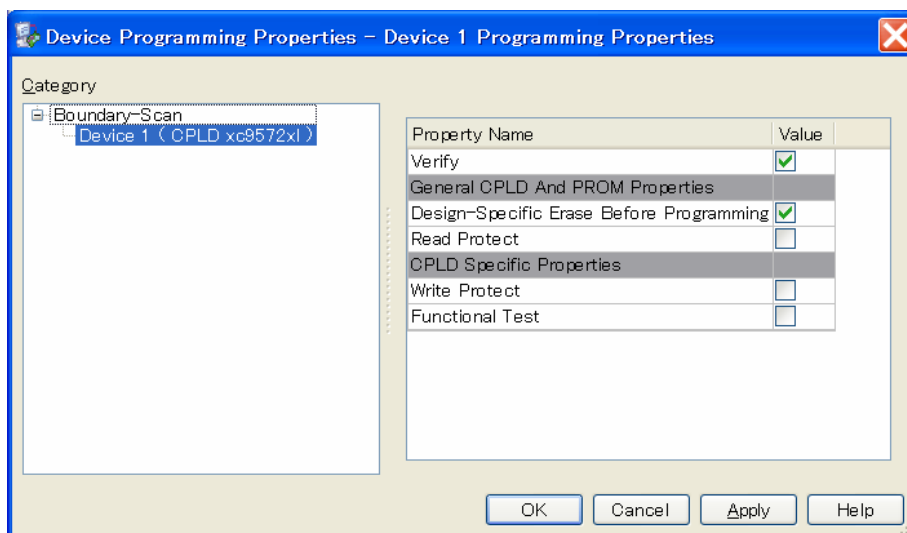
.jed ファイルを選択して「開く」ボタンを押す。



Xilinx デバイスを選択して右クリックする。

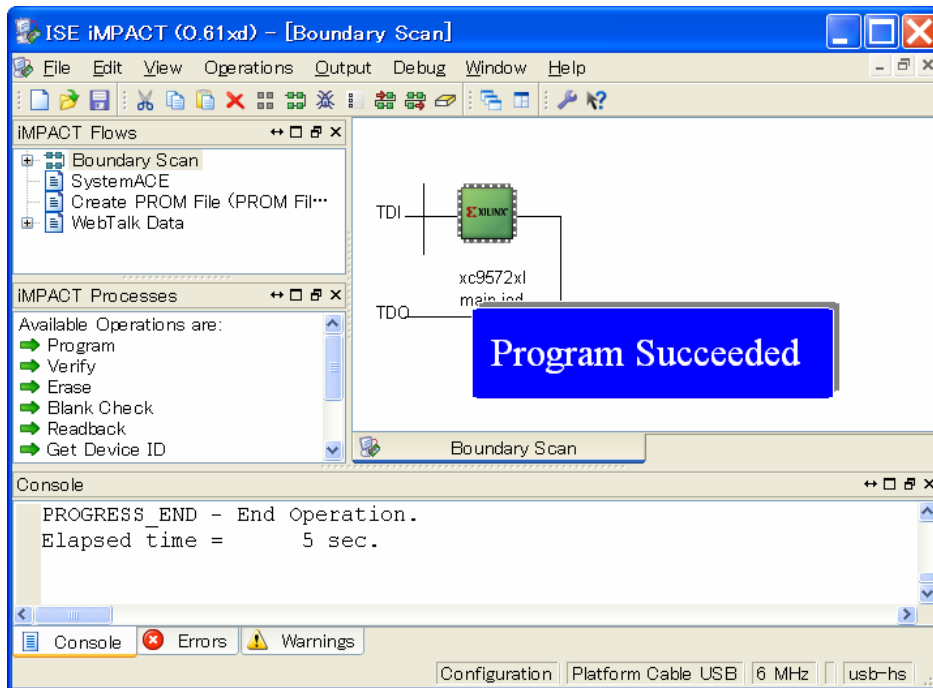


Program を押す。



デフォルトのまま「OK」を押すと、書き込み開始します。

ダウンロード完了後の画面：



以上。